

原水爆の恐怖 原-1～原-30

原-1



新聞記事 原爆実験で日本漁夫負傷 (第五福竜丸)

原-2



西坂町の丘より見た中町天主堂一帯の焼失地域
中央の尖塔は中町天主堂、右手後方に新興善
国民学校、左手後方に市役所が見える (長崎)

原-3



欄干の影が熱光線で残った
(爆心地から南南西880m
(広島))

原-4



爆風で倒れた樹齢300年の大楠木
(広島)

原-5



片足をふきとばされた山王神社の鳥居
(爆心地より約1,000m 長崎)

原-6



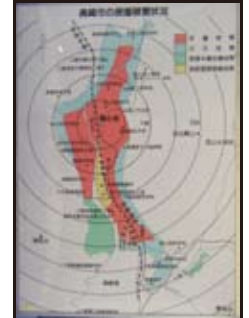
罹災証明書を書く警官
(爆心地より約2.7km)
(広島)

原-7



文字パネル 外国人の被爆者

原-8



長崎市の原爆被害状況

原-9



長崎要塞司令部の羽目板に残された閃光の影
(梯子と人の影が見える)

原-10



被爆後の広島市

原水爆の恐怖

原 -11



核実験前壕に待避する兵士たち
(1955年3月16日)

原 -12



原 -13



原爆の構造

原 -14



熱線で着物の柄が皮膚に焼きついた
(広島)

原 -15



広島市の原爆被害状況

原 -16



手当を待つ被爆者
(爆心より約2.3km 御幸橋西詰め 広島)

原 -17



一瞬にして廃墟と化した産業奨励館 相生橋周辺
(広島)

原 -18



被爆した直後に止まった時計
(長崎)

原 -19



人間の影が焼きついた石段
(爆心地から東250m 住友銀行 広島)

原 -20



長崎の鐘 この鐘だけが無事に残った
今も平和の鐘を鳴らし続けている

原水爆の恐怖

原 -21



年表

原 -22



原 -23



文字パネル ヒロシマ・ナガサキ

原 -24



宇品の曙部隊（陸軍船舶部隊）
の兵舎に収容された負傷兵たち

原 -25



文字パネル 原子爆弾開発の系譜

原 -26



原 -27



浦上天主堂にあった聖像
(長崎)

原 -28



浦上天主堂全景
(長崎)

原 -29



被爆後の広島市街

原 -30



教えられたとおり、目を覆っていたが、誰もが
(放射線で) 自分の骨がみえたのをおぼえている